

[別紙⑤]

第1学年 学級活動 学習指導略案

- 1 主 題 自分の好きなものを伝えよう
- 2 ね ら い ・ 友だちと仲良く行動することの大切さに気づき、友だちのことを考え、楽しい学級生活を送ろうとする。
 ・ 性や固定したイメージに関係なく、自分の好きなものを言ったり、友だちの好きなものを認めたりしようとする。
- 3 人権教育の内容 差別と人権問題についての学習2-(2)-ア
- 4 展 開

学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
1 本時のめあてを知る。	○ 今日は、自分の好きなものを伝え合う時間とします。まず、先生の好きなものを伝えます。	○ 教師の好きなものを見せて、好きなものを言いやすい雰囲気作りをする。
じぶんのすきなものをつたえよう。		
2 自分が好きな服やキャラクターのシールを選んでワークシートに貼り、発表する。	○ 自分の着たい服や好きなものを貼りましょう。完成したら友だちと見せ合ひましょう。 ・ 私はスカートが好きだな。 ・ 人形がすきだからはろうかな。 ・ ○○さんは、ズボンが好きなんだね。 ○ 好きなものを理由と合わせて発表しましょう。 ・ ミニーマウスがかわいいから好きです。 ・ 虫を選びました。わけは、かっこいいからです。 ・ ピンクは可愛いし、女の子の色っぽいから好きです。 ・ 好きなものに男とか女とか関係ないと思う。 ・ 好きなものは、みんなちがうんだよ。	○ 友だちが何を選んだのか知るために、近くの席の子とシートを見せ合うようにする。 ○ 「男の子だから」「女の子だから」ということばが出てきたときは、児童が考えている男の子と女の子の違いが、固定されたイメージに基づくものだという事に気づかせる。 ○ 好きなものを否定されたらどうか、自分に置きかえて考えさせることで、固定したイメージにとらわれていることに気づくことができるようにする。
3 ワークシートを見直す。	○ 「本当はこれも好き。」というものがあれば、上や横に貼ったり書き足したりしましょう。 ・ 女の子でもズボンの方が好きな子がいる。 ・ 男の子でもミニーマウスが好きな子がいる。 ・ 自分の好きなものを「いいね。」と言われるとうれしい。 ・ 友だちの好きなものを、もっと知りたいな。	
4 まとめとふり返りをする。	○ 今日の学習の感想を書きましょう。 ・ 好きなものを発表して楽しかった。 ・ 友だちの好きなものを教えてもらってうれしかった。 ・ ○○さんが、△△を好きだなんて知らなかった。	○ 自分の好きなものを言ったり、友だちの好きなものを認めたりしようとする言動をすることが大切であると気づかせ、生活に生かしていこうとする意欲を育てる。